

一般社団法人山口県医師会平成28年度第1回理事会

平成28年4月7日(木) 午後5時～午後7時9分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・林・加藤・藤本常任理事、
沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

議決事項

1 第178回山口県医師会定例代議員会について

6月16日(木)に定例代議員会を開催し、報告事項1件、議決事項7件を審議することが決定し、日程について協議した。

2 平成27年度事業報告について

実施事業別による事業報告について最終協議を行い、決定した。

協議事項

1 平成28年度事務局体制及び事務分掌について

新年度から入局職員1名を迎えたことにより、事務局体制及び職務分掌の変更が決定した。

2 「日医かかりつけ医機能研修制度 平成28年度応用研修会」について

日本医師会より、5月22日開催の標記研修会参加の要請があり、本会より2名が受講することとし、同時にテレビ会議システムによる研修会を山口市医師会館において開催することが決定した。

3 平成28年度山口県健康福祉功労者(優良看護職員)知事表彰候補者の推薦について

山口県健康福祉部長より、県民の健康福祉の向上に顕著な功績があった保健師、助産師、看護師又は准看護師に対する表彰の候補者推薦依頼があり、郡市医師会から推薦のあった3名の中から看護師1名を候補者として推薦することが決定した。

4 山口県健康福祉部との懇話会について

5月12日に開催することが決定し、協議項目を4月25日までに事務局に提出することとした。

5 第32回日本救急医学会中国四国地方会の名義後援・助成金について

山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学分野の鶴田良介教授より、標記学会引受けによる助成金の依頼があり、5万円を助成することが決定した。

6 学校管理下での組体操の実施に関する要望書について

運動会等で行われている組体操による事故が多発する中、平成28年3月25日、

スポーツ庁から各都道府県教育委員会に対して、組体操について、「安全性を確実に確認できない場合は実施を見合わせることを。」を求める通知が発出された。これを受け、山口県小児科医会から要望のあった、本会との連名による県教育委員会教育長に対する要望書の提出について協議し、承認された。

7 その他

(1) 地域医療構想に関するアンケート調査結果について

本会が、本年1月に県内全病院(147)と療養病床を有する有床診療所(19)を対象に実施したアンケート調査結果が報告された。今後の対応として、①郡市医師会、回答医療機関への結果報告、②本会会報への掲載、③調査結果の集計・分析を行った山口大学医学部地域医療推進学講座・松田教授による講演会開催の検討、以上3点について協議し、了承された。

(2) 第6回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」について

日本医師会から標記ワークショップの参加者派遣要請があり、中村理事を派遣することが決定した。

(3) 専門研修プログラムの認定に向けた各都道府県における調整等について

厚生労働省「専門医養成の在り方に関する専門委員会」では、「専門医の養成開始に向けたプロセス(案)」が示され、これを受け、「専門研修プログラムの認定に向けた各都道府県における調整等について」(平成28年3月31日付)が各都道府県衛生主管部(局)長宛に発出、日本医師会に対しても周知・協力の依頼があった。この通知では、日本専門医機構、都道府県、厚生労働省それぞれの取組みを明示するとともに、都道府県に対し、専門研修プログラムの認定方針に向けて、関係者(大学・主な基幹施設・連携施設、医師会、病院団体、行政、日本専門医機構等)と連携し、必要な情報共有、検証、調整等を図るよう要請されており、関係者による協議では、医師の地域偏在を助長させないよう、4月中に取り組む「日本専門医機構からのプログラム申請情報の共有」、「地域医療確保の観点から必要な施設が漏れていないか検証」の2点が地域医師会として重要な役割を担うこととなっている。今後、山口県が協議会及び専門委員会を設置した際は、新たな専門医の仕組みにおける専門研修プログラム認定に積極的に関与していくこと、加藤・今村両常任理事が担当役員として対応することが確認された。

人事事項

1 会内委員会等の委員・役員について

会内の各種委員会委員及び部会役員について協議、承認された。

報告事項

1 山口県小児救急医療対策協議会（3月3日）

関係機関から、平成27年度小児救急医療電話相談事業の実績報告があった。（相談件数は年々増加）。続いて、次年度の小児救急医療電話相談事業計画、県の平成28年度「小児医療対策事業」等について説明、協議を行った。（弘山）

2 郡市医師会医療廃棄物担当理事協議会（3月3日）

都道府県医療廃棄物担当理事連絡協議会の報告及び水銀血圧計等の回収の概要説明、回収スキームの説明（株式会社こっこー、野村興産(株)関西営業所）等が行われた。（加藤）

3 日医臨床検査精度管理調査報告会（3月4日）

標記委員会委員より第49回臨床検査精度管理調査の各検査項目に関する結果報告等が行われた。（原）

4 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会（3月5日）

4月1日より実施される診療報酬改定の具体的内容についての解説及び補足説明が行われた。本会では、県内7か所において会員への説明会を行った。（清水）

5 治験推進地域連絡会議（3月5日）

厚生労働省医政局研究開発振興課の福光 剣 先生による「臨床研究・治験の活性化・推進に向けた取り組み」等、6つの講演が行われた。（林）

6 男女共同参画部会総会（3月6日）

平成27年度事業報告、次期役員、平成28年度事業計画が承認された。その後、山口大学経済学部の鍋山祥子 教授による特別講演「介護と仕事～高齢者ケアは誰が担うのか～」と、一昨年実施した「介護に関するアンケート」の結果報告及び質疑応答が行われた。（濱本、紙面報告：今村）

7 都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」連絡協議会・学術大会（3月6日）

午前中の連絡協議会では、内閣府死因究明等施策推進室の中澤参事官から「死因究明等施策の推進について」の報告の後、警察活動等への協力業務検討委員会の小林 博 委員長から活動報告が行われた。その後、愛知県医師会、福岡県医師会からの報告及び質問・意見・要望等が行われた。午後からの学術大会では、東京都監察医務院の福永龍繁 院長の「在宅死と死体検案～特に孤独死と入浴中浴槽内死亡について～」と題した特別講演が行われた。続いて、公募による6つの演題の発表が行われた。（香田）

8 レジナビフェア 2016 in 福岡 (3月6日)

15 病院及び山口県医師臨床研修推進センターが出展を行い、訪問学生は 218 名であった。(加藤)

9 勤務医部会「なんでもトーク in 下関」(3月7日)

本会より、勤務医部会の活動報告後、高齢者医療と病病連携(高齢者の肺炎等)、地域の課題(救急医療、下関地域における専門医制度の取組み)等について意見交換を行った。(加藤)

10 第2回山口県准看護師試験委員会(3月7日)

平成27年度の准看護師試験の実施報告及び実施上の問題点等について協議が行われた。(加藤)

11 主治医意見書の書き方講習会(3月8日)

長門総合病院において、意見書の書き方講習及び質疑応答を行った。参加者24名。(河村)

12 山口県福祉サービス運営適正化委員会第95回苦情解決部会(3月8日)

平成27年度の苦情相談等の受付状況、苦情解決事案についての審議が行われた。その後、平成28年度山口県福祉サービス運営委員会事業計画(案)について審議した。(紙面報告:今村)

13 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会(3月9日)

平成28年度事業年度一般会計事業計画及び収入支出予算、保険者との契約の改定等について報告が行われた。(小田)

14 日医第10回医事法関係検討委員会(3月9日)

日医会長諮問「医療基本法(仮称)にもとづく医事法制の整備について」の協議及び医療事故調査制度の見直しに関するWTの報告等が行われた。(林)

15 第2回保険委員会(3月10日)

平成27年度個別指導の結果報告及び問題点等について協議が行われた。(萬)

16 郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会(3月10日)

平成27年度受付事案の報告、医事案件調査専門委員会での争点・結論、その後の経過等の報告を行った。また、医師会の窓口相談事例及び各医療機関の窓口等で発生している患者とのトラブル事例の研究報告を行った。(林)

17 山口県看護協会との懇談会(3月10日)

看護職員養成及び特定行為に係る看護師の研修制度等について意見交換を行っ

た。(加藤)

18 山口県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 (3月10日)

平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画の審議を行った。(加藤)

19 山口県救急MCフォーラム2016 (3月11日)

東日本大震災5周年に当たる3月11日、山口県総合保健会館及び本会館を会場に、中国・四国・九州の各地から約300人が参加して開催された。(弘山)

20 山口県生活習慣病検診等管理指導協議会「肺がん部会」(3月11日)

「市町肺がん検診の実施状況」、「診断症例調査票」、「山口県肺がん予防重点健康教育及び肺がん検診実施指針(案)」、「部会資料の活用」について協議した。その後、「山口県のがんの状況」、「山口県のがん対策」について報告があった。(中村)

21 主治医意見書記載のための主治医研修会 (3月12日)

「介護保険制度について」(山口県健康福祉部長寿社会課介護保険班 端田哲朗)及び「認知症診療における主治医意見書記載のポイント」(山口大学大学院医学系研究科神経内科学准教授 川井元晴)の講演を行った。受講者28名(河村)

22 保育サポーター研修会 (3月13日)

保育サポーターバンクの説明後、山口大学医学部附属病院小児科の岡崎史子先生による講演「子どもの誤嚥と窒息事故～リスクの把握と対応について～」、「食物アレルギーとアナフィラキシー～病気の理解と対応について～」を行い、その後、地区別昼食懇談会を行った。(紙面報告：今村)

23 山口県生活習慣病検診等管理指導協議会「子宮がん部会」(3月14日)

「山口県のがんの実情」、「平成26年度の市町がん検診の実施状況」、「市町がん検診の実施状況」、「妊婦健康診査における“子宮がん検診”に関する調査」、「部会資料の活用」等8項目の報告が行われた。(藤野)

24 医療事故調査制度に関する医療機関向け研修会 (3月14日)

「医療事故調査制度の概要について」(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室)、「医療事故調査制度の理念と医療事故調査・支援センターの役割」(日本医療安全調査機構)、「院内医療事故調査の具体的方法～事故の発生と相談～」(日医医療安全対策委員会)等の講演及び質疑応答が行われた。(小田)

25 日本医師会第12回理事会 (3月15日)

東日本大震災におけるJMAT(日本医師会災害医療チーム)の活動終了の件、平成27年度日本医師会会費減免申請の件等について協議を行った。(小田)

26 診療報酬改定説明会（3月16・17・18・22・24・25日）

平成28年度診療報酬改定に関する説明会を岩国市、山口市、下関市、長門市、柳井市、周南市、宇部市の県内7会場で行った。なお、前回同様、中国四国厚生局の実施する「改定時集団指導」と同時開催した。出席者：全会場合わせて約2,560名（清水）

27 医事案件調査専門委員会（3月17日）

病院1件の事案について審議を行った。（林）

28 新たな専門医制度の研修プログラムに係る情報交換会（3月17日）

3月11日現在の山口大学及び山口大学以外の研修プログラム病院群一覧、研修プログラムの公的医療機関等の連携状況、各基本領域のプログラム整備基準の概要等が説明され、その後、意見交換を行った。（紙面報告：今村）

29 山口県高齢者保健福祉推進会議（3月17日）

高齢者施策の進捗状況、地域包括ケアシステムの構築、認知症施策の推進、介護人材の確保、高齢者の社会参加の促進、第5次やまぐち高齢者プランの数値目標の達成状況等について協議を行った。（河村）

30 山口県在宅医療推進協議会（3月17日）

在宅医療推進の在り方や進め方、山口県地域医療構想、療養病床の在り方に関する検討会、平成28年度健康福祉部予算（案）の概要等について協議を行った。
（河村）

31 第6回ドクターヘリ運航調整委員会（3月17日）

中国5県ドクターヘリ広域連携の出動実績及び平成26年度の山口県ドクターヘリの運航実績等について説明、協議した。（弘山）

32 山口県予防保健協会第6回定例理事会（3月17日）

2016年事業計画・収支予算、土地の取得、組織規則の一部改正等5題の議案について審議を行った。（中村）

33 山口県健康福祉財団第4回理事会（3月17日）

平成27年度収支補正予算、平成28年度事業計画・予算、職員給与規程の一部改正等、5題の議題について協議を行った。（事務局長）

34 日医総研シンポジウム（3月18日）

「東日本大震災5周年 災害対応と復興にむけて」をテーマに開催され、「災害からの復興—国際社会からの経験—」、「レジリエンスと災害 我々はこの新しいパラダイムから何を学べるか」等、講演6題が行われた。（小田、中村）

- 35 やまぐち移植医療推進財団第2回通常理事会（3月18日）
平成27年度補正予算、平成28年度事業計画・収支予算、職員給与規定の一部制定等、議案6件を審議、承認された。（濱本）
- 36 レジナビフェア2016 in 東京（3月20日）
22大学から30名の学生の訪問があった。（中村）
- 37 勤務医部会市民公開講座「光市」（3月20日）
「共に考える光市の救急医療～周南医療圏のなかで～」をテーマに光市民ホールにおいて開催された。光市立光総合病院の竹中智昭 副院長、周南記念病院の橋谷田 博 副院長、徳山中央病院の山下 進 救命救急センター長の講演後、パネルディスカッションが行われた。（加藤）
- 38 山口県社会福祉事業団第149回理事会（3月22日）
平成27年度補正予算、平成28年度事業計画・予算、華の浦学園移転新築工事に係る入札参加予定者の選定、定款の一部変更、事務局長及び施設長の任免等12題の議案について審議を行った。（小田）
- 39 山口県病院協会との懇談会（3月23日）
近況情勢について意見交換を行った。（河村）
- 40 山口大学第71回経営協議会（3月23日）
第3期中期目標・中期計画の予算、収支計画、資金計画、平成28年度山口大学基金にいる学生支援事業・支援経費、平成28年度当初予算編成等について審議を行った。（紙面報告：今村）
- 41 中国地方社会保険医療協議会山口部会（3月23日）
医科では、新規4件（新規2件、交代1件、組織変更1件）が承認された。
（小田）
- 42 山口県共同募金会第3回評議員会（3月23日）
平成27年度補正予算・共同募金配分、平成28年度事業計画・予算等、4議案について審議を行った。（事務局長）
- 43 第2回山口県医師臨床研修推進センター運営会議（3月24日）
平成27年度事業報告、平成28年度事業計画・予算、平成29年度研修開始臨床研修医の募集定員等について協議後、新専門医制度に対する対応等について情報交換を行った。（加藤）

44 都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会（3月24日）

小森 貴 日医常任理事より生涯教育関連事項の報告があり、倉本 秋 生涯教育推進委員会委員長より委員会報告として、新しい専門医の仕組みを踏まえた日医生涯教育制度の見直しについて説明が行われた。その後、「平成28年度からの日医生涯教育制度と全国的な研修管理システムの導入」の解説、「全国的な新研修管理システムについて—講習会管理と単位管理の連携—」、「日医かかりつけ医機能研修制度について」の講演が行われた。（紙面報告：今村）

45 第5回日本糖尿病対策推進会議総会（3月24日）

福島靖正 厚生労働省健康局長の来賓挨拶に続いて、横倉義武 日本医師会長が開会の挨拶を行った。その後、「糖尿病診療データベースの構築」、「糖尿病重症化予防等に対する政府の方針」、「埼玉県における市町村国保共同による糖尿病重症化予防」についての講演が行われ、質疑応答が行われた。（沖中）

46 山口県母子保健対策協議会（3月24日）

母子保健の動向及び母子保健事業実施状況、専門委員会報告が行われ、その後、平成28年度事業について協議を行った。（濱本）

47 第2回山口県感染症健康危機管理対策協議会（3月24日）

感染症の発生状況と対策、蚊媒介性感染症等について協議を行った。山口県においては、発生期においては知事を本部長とする「山口県感染症危機管理対策本部」を、県内発生に備える必要がある場合は健康福祉部長を会長とする「山口県感染症危機管理対策推進会議」が設置されるとの説明があった。（藤本）

48 中国四国医師会連合常任委員会（3月26日）

医療事故調査制度、平成28年度中国四国医師会連合総会、中国四国医師会学校保健担当理事連絡会議への助成等について協議を行った。（河村）

49 中国四国医師会連合連絡会（3月26日・27日）

26日は、中国四国医師会連合常任委員会、日本医師会財務委員会、日本医師会議事運営委員会の報告後、中国四国医師会連合選出の日本医師会役員から中央情勢報告が行われた。27日は、日本医師会議事運営委員会の報告が行われた。（河村）

50 第136回日本医師会臨時代議員会（3月27日）

平成28年度日本医師会事業計画、平成27年度日本医師会予算補正、平成28年度日本医師会予算について報告後、平成27年度日本医師会会費減免申請の件について審議し、可決決定された。また、代表質問8件、個人質問12件、会長挨拶への質問1件について、それぞれ担当役員から答弁が行われた。本会から出席の加藤予備代議員は、「医療における消費税問題に向けた質問と国への働きかけ」について中国四国ブロックとしての代表質問を行った。（河村）

51 第 17 回都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会（3 月 30 日）

「在宅医療・介護連携推進事業～実施状況及び今後の施策等～」 「認知症初期集中支援チーム等」 「地域包括ケア構築に向けた医師会と地域支援事業との関わり」 「在宅医療・介護連携推進事業に関する福井県医師会等の取り組み」 の講演 4 題と指定発言「在宅医療ケアを全国で推進するための医師会の役割」が行われた。
(香田)

52 郡市医師会生涯教育担当理事協議会（3 月 31 日）

日医生涯教育制度と全国的な研修管理システムの導入等について報告後、平成 28 年度生涯教育事業計画として、生涯研修セミナー、山口県医学会総会、体験学習等について協議を行った。（紙面報告：今村）

53 山口大学医学部附属病院オリエンテーション（4 月 5 日）

「医療紛争の現状と問題点&研修医の皆さんのための救急対応」をテーマに講演を行った。（林）

54 広報委員会（4 月 7 日）

会報主要記事掲載予定（5～7 月号）、緑陰随筆、県民公開講座及びフォトコンテスト、tys「スパ特」のテーマ等について協議を行った。（中村）

55 会員の入退会異動

入会 21 件、退会 42 件、異動 35 件。（4 月 1 日現在会員数：1 号 1,299 名、2 号 870 名、3 号 401 名、合計 2,570 名）

56 禁煙教育スライドのホームページ掲載について（情報提供）

本会の禁煙推進委員会では、平成 27 年度事業として学校現場や一般県民向けに使用できるパワーポイントのスライドを作成し、本会のホームページに掲載した。
(藤本)

医師国保理事会 一第 1 回一

1 傷病手当金支給申請について

1 件について協議、承認。